

導入製品 ProVoXT (プロボクスト)
AmiVoice ScribeAssist (アミボイス スクライブアシスト)2020年11月導入
2023年10月導入

議事録作成時間が約50%減 スタンドアローン型とクラウド型の 2製品をシーンに応じて使い分け



※ 出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向2024」

導入のポイント

課題

議事録作成に会議時間の4倍以上かかっていた

議事録作成のために会議中に職員がメモを取る必要があった

効果

会議後の文字起こしが不要になり議事録作成時間が約50%削減

会議中にメモを取る必要がなくなり、会議に専念できるようになった

Customer Profile



愛知県 春日井市役所 様
所在地：愛知県春日井市
市長：石黒 直樹
職員数：3,085人(2024年4月時点)

議事録作成に会議時間の4倍以上かかっていた

導入前は、会議中に職員がメモを取ったり、ICレコーダーで録音したデータを会議終了後に文字起こししたりして議事録を作成していました。年間100回以上の会議で議事録を作成していましたが、会議時間の4倍以上の時間を要していました。そのため、担当者の負担が大きく、効率化を検討していました。

ライセンス数に制限がなく全庁で利用できる

議事録作成の効率化のために他自治体の導入事例を調べた結果、「ProVoXT」の存在を知りました。「ProVoXT」はライセンス数に制限がないため、全庁で使える点が運用にマッチしていました。また、音声認識辞書が会議・議会・医療など豊富で、音声認識精度が高い点を評価して2020年に導入を決定しました。



議事録作成時間が半減

導入後、会議後の文字起こしが不要になり、議事録作成にかかる時間が約50%削減されました。また、会議中にメモを取る必要がなくなり、会議に専念できるようになりました。全庁的に利用しており、毎週の幹部層の会議でも活用しています。

利用シーンに応じて2製品を使い分け

2023年には、リアルタイム認識によるさらなる効率化のために、「AmiVoice ScribeAssist」を「ProVoXT」とのセットプランで導入しました。「AmiVoice ScribeAssist」は医療辞書が豊富で、医療機関関係者が参加する会議でも精度の高い文字起こしができています。利用状況や利用シーンに応じて2製品を使い分けられるのもメリットだと感じています。

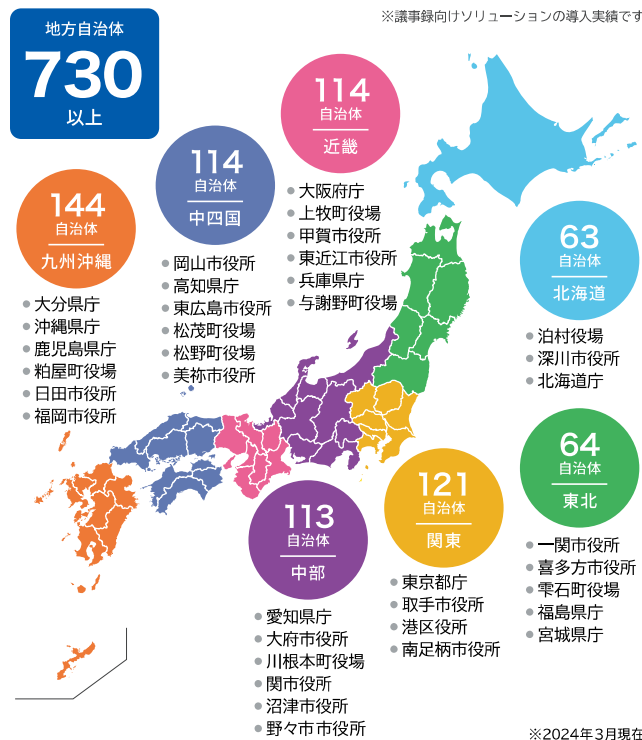
録音のコツ

マイクの運用方法によって、音声認識の精度が大きく向上します。

		会議 (大人数)	会議 (少人数)	面談	セミナー
IC レコーダー		×	△	○	○
グースネック マイク		○	—	—	○
ハンド マイク		◎	△	△	◎
バウンダリー マイク		○	○	○	—

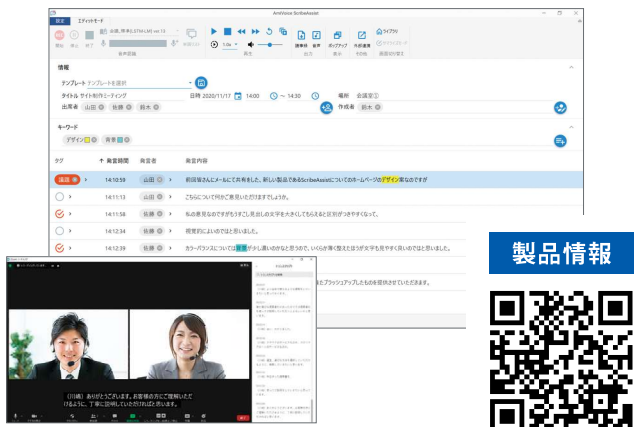


導入実績



製品情報

●AmiVoice ScribeAssist (アミボイス スクライブアシスト)
音声録音からテキスト化、編集、要約までをワンストップで実現する、AI音声認識で議事録作成を自動化するアプリケーション。
スタンドアロン型アプリケーションなので、インターネット接続の有無にかかわらず、いつでもどこでもご利用いただけます。
ChatGPTと連携した自動要約機能も搭載し、議事録作成にかかる時間を大幅に削減します。



●ProVoXT(クラウド型文字起こしサービス)
ProVoXT(プロボクスト)は、自治体から企業まで幅広い業種でご活用いただけるクラウド型の音声ファイル文字起こしサービスです。音声ファイルをクラウドにアップロードして音声認識処理を行い、テキストを自動作成するため聞き取り・書き取りで行うよりも素早く効率的に文字起こしを行えます。



(販売代理店)

(開発・発売元)



株式会社アドバンスト・メディア
VoXT(ボクスト)事業部

〒170-6042
東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 42F
URL : <http://www.advanced-media.co.jp/>
Mail : voxt-info@advanced-media.co.jp



※弊社は(財)日本情報処理開発協会により、個人情報情報を適切に取り扱っている事業者であることを示す「プライバシーマーク」の付与認定を受けています。